

いんざい

No.187

2019. 2. 8

議会だより



未来にタスキをつなげ!

(第13回 印西小学校駅伝競走大会/松山下公園 陸上競技場)



- P 2～5 市民意向調査 結果報告
- P 6 12月定例会 質問者一覧
- P 7～15 一般質問 個人質問17人
- P 15 女性模擬議会を開催
- P 16・17 各常任委員会の審査 総務企画常任委員会 文教福祉常任委員会
- P 18 補正予算の審査 予算審査常任委員会
- P 19 議案と審議結果一覧 委員会提出議案・陳情
- P 20 印旛管内市議会 視察研修会 声の議会だよりを 取材
- P 21～23 各常任委員会 視察報告
- P 23 編集後記
- P 24 市民の声 次回定例会の お知らせ

印西市議会初の

市民意向調査を実施

印西市議会では、市民の皆様から議会のこれまでの取り組みに対する評価と、これからの議会に対する意向・意見を聞き、今後の議会活動の基礎資料とするため、市議会としては初めて市民意向調査を実施しました。なお、結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

します

意向調査

これからの 議会活動に活か

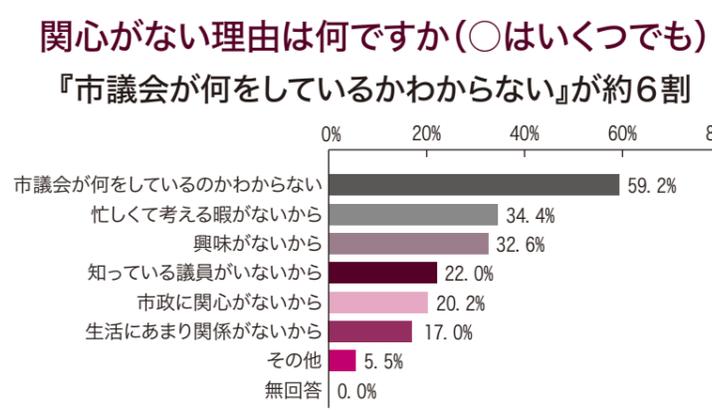
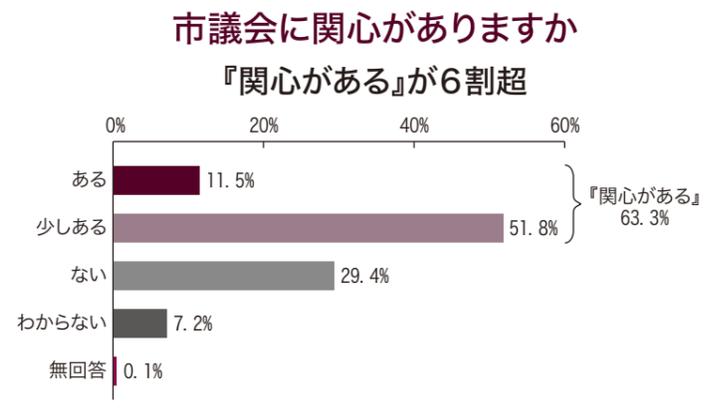
印西市議会に関する

今回実施しました「印西市議会に関する市民意向調査」は、平成30年8月に市内に居住する18歳以上の市民2000人を無作為に選ばせていただき行ったもので、741件の回答をいただきました。なお、有効回答率は37・1%でした。

市議会への関心は 『関心がある』 が6割超

市議会に少しでも『関心がある』人は約6割、「関心がない」人は3割となっており、関心がない理由としては「市議会が何をしているかわからないから」が最も高く、市議会及び市議会議員の役割や活動を知らないことが、市議会への関心の薄さに繋がっています。

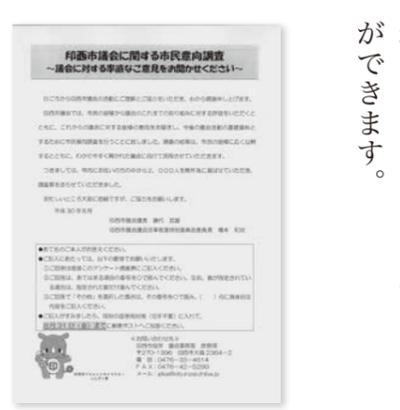
市議会議員選挙に「毎回行く」人は57・8%となっており、市議会に『関心がある』人は選挙に毎回行く割合が高くなっています。また「気が向いたら行く」と回答した人では、「時間や暇がある場合」に選挙に行く気になるが高くなっています。一方で選挙に「行かない」と回答した人は、半分近くが「誰がよいかかわからない」と回答しています。市議会だよりを少しでも『読む』人は5割半ばで、年代が上がるほど読んでいる人



が多くなっています。議会だより以外では「各会派の広報紙」で議会の情報を得ている人が多くなっていますが、「情報の入手方法がわからない」人も3割近くいます。また、市議会が力を入れるべき情報

発信方法として5割以上の回答者が「市議会だより」を選んでいきます。実際の市議会の会議等を傍聴したことがある人は約4%にとどまり、9割半ばが傍聴したことがないと回答しており、その理由としては「時間がないから」が最も高くなっています。

居住地域(3分類)は、「印西地域」が77・3%と7割後半を占めて最も高く、次いで



「印旛地域」が14・0%、「本埜地域」が7・8%、となっています。

回答者の年齢

年齢は「20歳未満」0・5%、「20歳代」5・5%、「30歳代」23・6%、「40歳代」26・7%、「50歳代」26・9%、「60歳代」15・0%、「70歳以上」0・8%、「無回答」0・9%となっています。

回答者の住まい

「男性」が44・3%、「女性」が54・1%、「無回答」が1・6%となっています。

結果報告書は

今回実施した市民意向調査の結果報告書は、印西市議会のホームページに掲載するとともに、市役所1階の行政資料コーナーでも閲覧することができます。

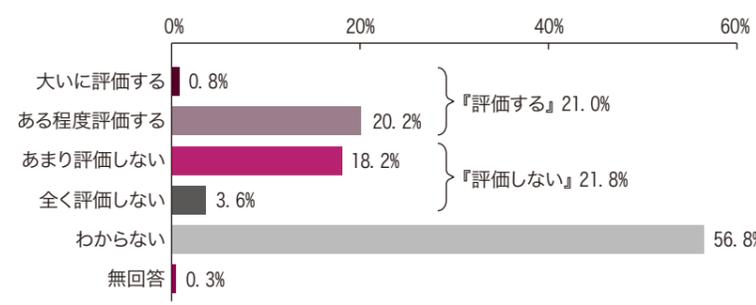
市議会への評価は『評価する』と『評価しない』がほぼ同じ

市議会への評価では、『評価する』と『評価しない』割合はほぼ同じとなっており、市民の中で市議会の評価が割れています。

市民の意見や声が市議会に『反映されていると思う』は回答者の2割、「思わない」は4割と、反映されていないと思う人の方が多くなっています。9割半ばが市議会に自分の意見や要望を「伝えていない」としており、その半分近くが意見や要望の「伝え方がわからない」と回答しています。また、請願や陳情を市議会に提出できることを7割近くが「知らない」と回答しており、3割の「知っている」回答者でも請願や陳情を市議会に提出したことがある人は3・5%にとどまっています。

自分で選んだ市議会議員の活動に『満足している』は2

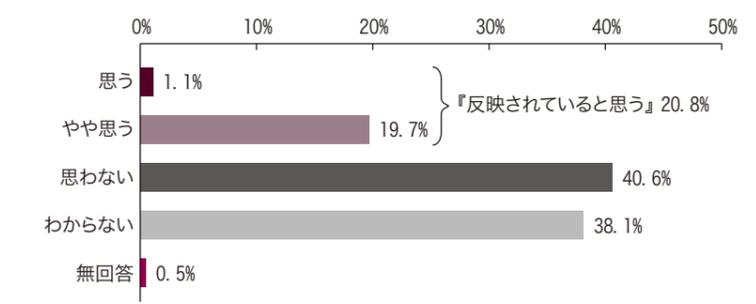
現在の市議会をどのように評価しますか 『評価する』と『評価しない』がほぼ同じ割合



全体としては、本埜地域ではポジティブな評価にしてもネガティブな評価にしても、市議会への関心が高くなっています。評価としては「わからない」と回答する人が多く、市議会や市議会議員が行っている活動やその成果についての広報が必要と思われれます。

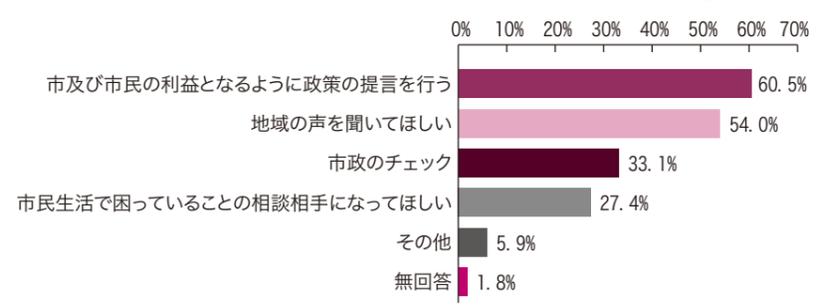
意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか

『反映されていると思う』は2割



また、市民の意見や声が市議会に伝わっていないと思う人が多い反面、意見や要望を市議会に伝えていないとの回答が多いことから、請願や陳情の方法をより周知することや、市議会の方から市民の声を聞くなど、広く市民の意見を募ることが求められています。

議員や市議会に何を期待しますか(○はいくつでも) 『市及び市民の利益となるように政策の提言を行う』が6割



議員の定数・報酬は

議員定数を2名削減し、22名としたことを「知っている」人は15・5%となっており、8割以上が「知らない」と回答しています。議員定数は「今のままでよい」と思っている人が3割を占めており、「多い」と回答している人では、現在の議員数よりもやや少ない人数が妥当だと考えています。また、議員定数は市の「人口」を基準に決めるべきだとの回答が多くなっています。

現在の議員報酬については、「妥当」という回答が約4割を占めています。「多い」と回答している人の5割強で、21から30万円が妥当だと考えています。また、議員報酬の基準としては、4割の回答者が「市政への貢献度を把握し、それをもとに議員報酬を定める方式」が妥当だと回答しています。

議会改革推進特別委員会 委員長を取材

議会だより編集委員会では、今期(平成29年6月議会から31年3月議会)の議会改革推進特別委員会の活動が終盤を迎えるにあたり、議会改革の成果と今後の印西市議会のありべき姿を明らかにするため、当委員会の委員長を取材しました。

問(一般的に) 市議会の目指す方向は。

答 よく言われていることですが、市と市議会は市政の両輪として市民の福祉向上を目指していくものである。しかし、その場その場においての施策は多数あり、その選択に議論が生まれる。その議論の中に市民の意見が反映されなければならぬ。

問 今期、議会改革で行った事業は。

答 最近、他市も含めた市議会の問題になってきていることはひととおり検討を加え、議会エリアのWEB化など実施すべきものは実施してきたが、特筆すべきは、女性模擬議会

の開催と市民意向調査の実施である。

問 これからの印西市議会に求められるものは。

答 議会改革は、永遠のテーマであると思う。世の中がどんどん変化している中で議会も変わり続ける必要がある。その改革の中にも女性の生の意見やアンケート結果にみられる傾向や自由意見が取り入れられれば、目指すものに近づくとと思う。

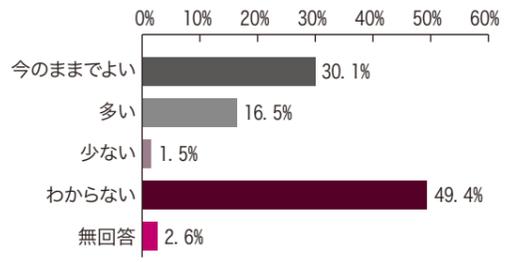
女性模擬議会を開催

平成30年10月31日(水)、議場において、印西市議会初の女性模擬議会を開催しました。

8名の女性模擬議員が個人質問を行い、市に対し、市政の方針や考え方を聞きました。日頃感じていた疑問や意見が多数出され、活発な模擬議会となりました。なお、女性模擬議員の顔写真と質問項目の概要は15ページに紹介しています。

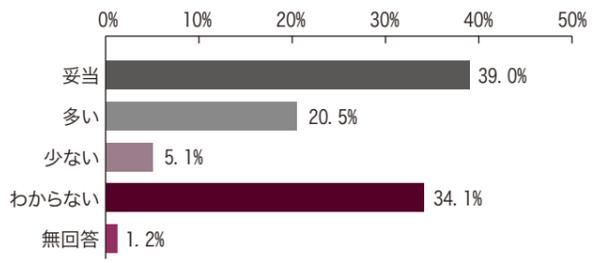
現在の議員定数は22人ですが 議員定数についてどう思いますか

『今のままでよい』が3割



議員の報酬は毎月37万円ですが この金額についてどう思いますか

『妥当』が約4割



我が市政を問う

12月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間、開催されました。市長提出案件は議案7件、委員会提出議案は1件、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は、19ページに掲載しています。



一般質問

平成30年第4回定例会では12月3日から4日間、17人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここではその一部を掲載いたします。この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》
議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

個人質問

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 稲葉 健 ……P7 | 10. 橋本 和治 ……P11 |
| 2. 小川 利彦 ……P7 | 11. 板橋 睦 ……P12 |
| 3. 金丸 和史 ……P8 | 12. 松尾 榮子 ……P12 |
| 4. 玉木 実 ……P8 | 13. 小川 義人 ……P13 |
| 5. 軍司 俊紀 ……P9 | 14. 山田 喜代子 ……P13 |
| 6. 岩崎 成子 ……P9 | 15. 伊藤 真一 ……P14 |
| 7. 増田 葉子 ……P10 | 16. 海老原 作一 ……P14 |
| 8. 近藤 瑞枝 ……P10 | 17. 櫻井 正夫 ……P15 |
| 9. 浅沼 美弥子 ……P11 | |

個人質問

問 利用率の高いルートを増便しては

答 効率的な運行に努めたい

稲葉 健 議員

質問 「印西市公共施設等総合管理計画」に伴う「印西市公共施設適正配置実施方針(案)」において施設の集約や統合について検討されているが、公共施設の統廃合には、市民の足の確保が必要と考えるがどうか。

市長 公共施設の集約化等が行われても運行の必要性は高いと認識している。

再質問 施設の統廃合を検討する部署と公共交通を検討する部署の連携を密にする必要があると考えるがどうか。



ふれあいバス

企画財政部長 部署間の関係を密にし、取り組んでいきたい。

再質問 街の発展には地域交通が重要と考えるが、ふれあいバスについて利用率の高いルートに増便等の検討は行われているのか。

答弁 現段階での増便は難しい状況と考えるが、今後も利用者数の把握等を行いながら、より効率的、効果的な運行に努めていきたい。

再質問 JR成田線と北総線を短時間で結ぶバス便の運行等が夜間を通じて頻繁にあれば、地域活性化に繋がると考えるがいかがか。

答弁 JR成田線と北総線が短時間で結ばれ、さらに夜間の利便性が確保されれば地域の発展にも貢献するものと考えられるので策定を予定している「印西市地域公共交通ネットワーク」の中で検討・研究していく。

個人質問

印西市の安心安全と国際化へ

小川 利彦 議員

質問1 市内病院との連携は、健康福祉部長 日本医科大学千葉北総病院には、補助金交付し、印西総合病院は、救急搬送受入件数の情報をもとに、救急医療体制について情報共有している。

再質問 PUSHプロジェクト(心肺蘇生セミナー)の実施状況の認識は。

答弁 PUSHプロジェクトについては、三次救急病院が中心となり、救命率の向上を目的とした心肺蘇生術、応急手当等の蘇生教育を行っている」と聞いている。

再質問 45分の講習ならば、小中学校の授業でも出来ると思うがどうか。

教育部長 指導者や使用教材の確保、各校の授業数を鑑み、慎重に検討する。

質問2 市内在住の外国人への対応はどうか。
企画財政部長 言葉や文化の



蘇生練習キットのあっぱくん

違いにより生じる不便さの解消に努めながら、安心して生活していくことができるよう、出来る限りの配慮をする。

再質問 ※インバウンド対策は、必要に応じて宿泊施設との連携を図り対応する。

再質問 英語版「まっふる印西市」の活用方法はどうか。

環境経済部長 市内外の宿泊施設や観光スポット等に当該冊子の配布を依頼する。

再質問 今後の対応は。
企画財政部長 来年度に外国人市民意識調査を行う予定だ。



行政組織の改革

木川中学校校舎増築

金丸和史議員

個人質問

質問1 会計管理者と会計課長、水道部長と水道課長は兼務したままでよいのか。

再質問 職員をそれぞれ配置するのが理想だが、現状、兼務辞令で対応している。

再質問 事務決裁規程の代決・専決の規定からみても解消すべきではないか。

答弁 今後もより良い組織づくりに努めていきたい。

質問2 水道課及び下水道課の統合は考えているか。

総務部長 行政組織改革基本方針を定め、その中で平成32年度に統合する方針である。

再質問 その前に計画される下水道事業の企業会計への移行は予定通りにできるのか。

都市建設部長 31年度実施に向け準備を進めており、計画通り移行できるものと考えている。

質問3 時間外労働を月45時間以内に抑えるのは可能か。

総務部長 管理監督職による時間外勤務の管理体制強化を図り、縮減に努めたい。

質問4 木川中学校の増築校舎の場所はどこなのか。

教育部長 既存校舎北側に増築することとした。

再質問 増築校舎の教室数は。 **答弁** 推計により8教室の増築を計画している。



木川中学校

問 部活動のガイドラインは

答 8月に策定した

玉木実議員

個人質問

質問 中学校の部活動のガイドラインは策定したのか。

教育長 国、県が策定した運動部活動のガイドラインを踏まえ、8月に市立中学校に係る部活動の方針を策定した。

再質問 休養日の設定は。 **答弁** 一週間のうち2日以上、夏、冬休みは5日以上連続の休養日を設定している。

再質問 部活動の活動時間は。 **答弁** 平日は2時間程度、休日は3時間程度に設定した。

再質問 部活動の顧問に大変な負担が生じているが、対応は。 **答弁** 教育委員会は要望や実情に応じて、外部指導者を派遣する部活動サポート事業を実施している。

再質問 日本体育協会が発表した、担当部活動に対する顧問の競技経験の有無は52.1%が無いとあるが、市の現状は。 **答弁** 調査したところでは、自身の競技経験がないとする教員の割合は、平成30年は53.5%で、日本体育協会の調査結果と同じだ。

再質問 偏った勝利主義やスポーツ根性論からの脱却を目指すためのガイドラインだが長時間の活動から科学トレーニングの導入はどのように取り組んでいるか。 **答弁** 顧問教員は部活動のサポーターの助言や指導者研修会に参加し、各種スポーツの手引書も活用している。

再質問 日本体育協会が発表した、担当部活動に対する顧問の競技経験の有無は52.1%が無いとあるが、市の現状は。 **答弁** 調査したところでは、自身の競技経験がないとする教員の割合は、平成30年は53.5%で、日本体育協会の調査結果と同じだ。



障がいのある人にやさしいまちづくりを

岩崎成子議員

個人質問

質問1 公共施設である公民館では、市民が参加するさまざまな行事や事業が実施されている。公民館における多目的トイレの設置状況は。 **教育部長** 公民館5館のうち印旛公民館を除く4館に設置されている。

再質問 印旛公民館に障がいのある人が利用できる多目的トイレは設置しないのか。 **答弁** 多目的トイレが設置できるところを検討していきたい。

質問2 災害などから障がいのある人を守る体制づくりの。 **市長** 第2次基本計画で、平成32年度までの目標値は10施設だが、30年11月末現在で12施設の整備が図られた。通所障がい者施設は、特別支援学校卒業後の進路先の一つであることから、引き続き支援に努め、地域生活における支援体制の強化を図っていく。

質問3 通所障がい者施設の拡充は計画通り進んでいるか。 **市長** 第2次基本計画で、平成32年度までの目標値は10施設だが、30年11月末現在で12施設の整備が図られた。通所障がい者施設は、特別支援学校卒業後の進路先の一つであることから、引き続き支援に努め、地域生活における支援体制の強化を図っていく。



地域生活支援拠点施設



議会だよりを「マチイロ」で!



お知らせ

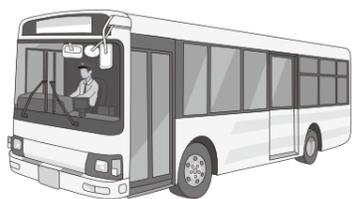


お知らせ

会議録がインターネットで閲覧できます。

質問 「地域公共交通会議」では「印西市地域公共交通網形成計画」の策定を目指すとのことだが、具体的なスケジュールはどうなっているのか。 **企画財政部長** 平成31年度から国の支援が受けられるようスケジュールの調整を進める。 **再質問** ふれあいバスについては、どのような要望があがっているのか。 **答弁** 時間がかかる、便数が少ない、夜間の便がない等、要望が寄せられている。 **再質問** 高齢者等が移動しやすい環境づくりは急務であり、市として、75歳以上の後期高齢者については、ふれあいバスを無料にすべきではないか。 **答弁** 研究していきたい。 **再質問** 免許返納者の移動支援として、ふれあいバスや福祉タクシーは大きな役割を果たすものと考えているが、どうか。 **答弁** 高齢者による交通事故

防止対策の観点から、運転免許証の自主返納を促進していくことが必要であると考えている。 **再質問** 70歳以上の方が免許返納した場合、ふれあいバスを無料にはできないのか。 **答弁** 免許返納も含め、高齢者の足の確保の観点からも、研究したい。 **再質問** ふれあいバスは、長い間、大きな見直しも行われていない。抜本的な見直しを行う時期にきていないか。 **答弁** 策定を予定している計画の中で、精査していきたい。



死後の安心が

暮らしの安心を支える

増田 葉子 議員

個人質問

質問 自身の死後に不安を抱える人が増えている。引き取り手がないと遺体も増加傾向にあると思われるが、現実はどうのような状況か。

健康福祉部長 平成29年度、引き取り手のないご遺体は7体あった。

再質問 人に迷惑をかけたくないという高齢者は多い。それは死後についても同じだ。死後の心配について相談が寄せられたことはあるか。

答弁 件数は把握できていないが、市や地域包括支援センターに将来の不安について相談がよせられている。

再質問 どのような回答をしているのか。

答弁 不安の内容を整理し、適切な相談機関などにつないでいる。

再質問 死後の事務は、任意後見契約とセットで委任契約を締結する例があるが、一般

的には一定の財産をもつ人が利用される。経済的にゆとり

のない人は、人に迷惑をかけたくないと思っただけでも、死後を託す制度がない。頼れる親族もなく、どうすることもできない。安心な暮らしは、死後の安心という基礎の上で成り立つ。情報提供だけではなく、エンディングサポート（終活支援）に具体的に取組む必要があるのではないかと。

答弁 先進自治体の事例を参考にしながら進めていく。



個人質問

野良猫に困っている皆さん

地域猫活動を

近藤 瑞枝 議員

個人質問

質問1 平成30年第2回定例会において、「地域猫活動における飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金制度に関する請願」が採択された。制度の取組状況はどうか。

環境経済部長 31年度実施に向け、要綱等の整備を進めている。助成金は、県内の平均額、去勢5千円・不妊1万円を参考に検討している。

再質問 ※ガバメントクラウドファンディング成功事例の千曲市・佐久市や磯子区を参考にすることはあるか。

答弁 地域猫活動促進のため先進地の事例を調査研究する。

質問2 犬の飼い主に、飼い犬がいなくなった時に取るべき行動を周知しているか。

環境経済部長 登録や狂犬病予防接種案内等に周知する。

質問3 たらひ回しと感じられがちな複数手続きを一括する、総合窓口設置はどうか。



保護され里親さんに貰われた子猫

総務部長 現在行っている行政組織改革基本方針の中で検討していく。

質問4 行政用語は、一般市民にとって馴染みがなく分かりにくい。中津川市・銚子市の例を参考に、まずは議会答弁や広報の文言を分かり易い言葉にすることが、市民対応の向上に繋がるのではないかと。
総務部長 市民サービスと満足度が上がるように努めていく。

個人質問

問 給付おむつの種類が少ないのでは

答 選択肢を増やすため見直す

浅沼 美弥子 議員

質問1 高齢者施策の拡充について、紙おむつ給付事業の状況は。

健康福祉部長 要介護2から5に該当する方に、一カ月紙おむつ30枚、尿取りパット120枚を上限に給付している。

再質問 おむつの種類は。

答弁 紙おむつが5種類、尿取りパットが4種類だ。

再質問 他市の状況はどうか。
答弁 白井市では紙おむつ15種類、尿取りパット9種類、柏市では、紙おむつ18種類、尿取りパット18種類、野田市では、紙おむつ15種類、尿取りパット11種類だ。

再質問 公明党が今春実施した、100万人訪問調査運動時に、おむつの種類を増やせないかとの声を受けた。種類を増やす考えはないか。
答弁 他市と比べて種類が少ないように。選択肢を増やすため、仕様を見直す。



身近な場所で生きがいがづくり

質問2 高齢者クラブの友愛事業の状況は。

健康福祉部長 平成29年度、「ふれあいサロン」や見守り活動などに8クラブ402名が活動している。

再質問 千葉県老人クラブ連合会から高齢者クラブへの補助金が29年度を最後に廃止された。市が、県の「在宅福祉事業補助金」を活用して事業を推進する考えはないか。

答弁 有意義な事業と認識している。補助金を積極的に活用し友愛事業を推進したい。

個人質問

問 印西市に公営住宅は必要か

答 今のところ必要ない

橋本 和治 議員

質問1 県営・市営住宅などの公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としているが、制度が始まって60年以上が経過し、様々な問題が出てきた。本市においても、公営住宅を求める声もあるが、本市の現状では公営住宅は必要ないと考えるがどうか。

都市建設部長 本市の持ち家比率は85・2%と県平均よりも約20ポイント高く、近隣市と比較しても持ち家率が高いことから、公営住宅は今のところ必要ないと考えている。

質問2 平成30年9月に発生した台風21号は近畿地方に上陸し、大阪では96万戸が停電した。原因は台風の強風により、800本以上の電柱が倒壊したことによる。もし、同様の台風が本市に襲来した場合、

電柱の無い街並み(東の原)



電柱の無い街並み(東の原)



お知らせ

市役所1階行政資料コーナー、市議会ホームページで政務活動費収支報告書が閲覧できます。

※ガバメントクラウドファンディングとは自治体などが、事業目的を限定し、期間、金額を定め、インターネットを活用して資金調達を行う仕組み。



かいせつ

問 道路の利便性向上と安全確保は

答 現地の交通状況を確認して対応

板橋睦議員

質問1 市道竜腹寺線の開通に向けた今後の予定は。

都市建設部長 現在の実施している設計見直し等の作業後工事の実施となるが、橋りょう建設には多額の工事費が必要だが財源の確保が難しい。合併前より着手している継続事業の早期完成に努め、順次着手していきたい。

質問2 コスモス通りの国道356号側の約0.7kmの優先区間を平成31年度共用開始に向けて整備しているが、優先区間と繋がる市道001-107号線の現状は。

都市建設部長 30年度に用地測量が完了する予定。31年度より事業用地の取得を開始する計画だ。

質問3 中央学校給食センター前から和泉地区への道路が開通してから、和泉地区の住居地を通過する車両が増え地元住民が困っている。単純

に狭あい道路を拡幅するなどではなく、住居地を通過する必要がなくなるルートでの道路計画が必要ではないか。

都市建設部長 今後、現地の状況を調査し、検討したい。

質問4 国道464号から角田地区への道路は印西市第2次基本計画にある地区幹線道路に位置付けられている。また、新市基本計画にも位置付けられ、合併から8年経過しているが進捗状況は。

都市建設部長 事業着手に向けて努めたい。



個人質問

市民活動のまちづくり

小川義人議員

質問 小林地区ではイベントの減少や住宅開発が進み、市民主体となって活動し、にぎわいのあるまちづくりを行うのに制約が多くなってきた。市が市民活動に期待しているものは何か。

市長 市民自らが自分の住むまちに関心を持ち、積極的に参画することは、よりよいまちづくりに向けて重要になると認識している。活動団体は行政だけではカバーできない公益的サービスの担い手として活躍しているが、市民福祉



市民活動イベント
小林こいのぼり

の二層の充実に向け、さらに大きな役割を担っていただきたいと期待している。

再質問 市民活動を継続していく上で、市として、支えたり、協力できることは。

市民部長 公益的な活動を広く支援するため市民活動支援センターを設置。また、資金面の支援として、公益信託印西市まちづくりファンドを設置し、広く助成を行っている。

再質問 小林地区では、市民活動イベント「小林こいのぼり」でさえ、継続が危ぶまれている。活動を継続していく上で、市の関わりは。

答弁 市民活動の裾野が広がっていくことが大切であると認識している。活動の継続で困難な課題が生じた場合には、その課題を活動団体と関連部署が共有し、課題解決に向けた協議を進め、市民活動が継続できるように努めたい。

都市再生機構跡地の活用 A.L.T.の増員計画は

個人質問

松尾榮子議員

質問1 都市再生機構事務所用地取得後の利用計画について、千葉ニュータウン中央駅圏は昭和59年の入居開始から34年を経過し約3万7千人が生活しているが、駅圏の公共施設は機能、規模、内容がまだまだ不足している。これまでにホール、ギャラリー、行政、警察機能等の充実について質問、提言してきたが検討内容に加えていく考えは。

企画財政部長 施設整備方針において福祉関連機能及び芸術文化機能を備えた施設を中心に検討することとしているが、今後市民参加手続における意見を含め様々なニーズを把握し、中央駅圏の市民サービス向上につながる施設を整備していきたい。

質問2 那須塩原市では英語教育推進事業を進め、全小中学校に1名から2名のA.L.T.（外国語指導助手）を常駐

配置し英語学習のほか児童生徒の日常生活でのコミュニケーション力や外国人に気軽に話しかけられる積極性などを育成している。市では11名のA.L.T.を全小中学校に週1から3日配置しているが、今後増員する考えは。

教育長 市内小学校3年から中学校3年までのすべての学級の外国語授業にA.L.T.を配置するには、平成33年から35年度をピークに16名のA.L.T.が必要と試算しており、今後段階的に増員していきたい。



英語学習風景

個人質問

地産地消を広げて 元気な毎日を

山田喜代子議員

質問1 高齢者配食サービスに、地元農産物を利用するよう業者提案する考えは。

健康福祉部長 事業者に申し入れた。

再質問 妊婦向けなど、対象者の拡大を図る考えは。

答弁 あらゆる方向で検討する。

質問2 妊婦が風疹にかかる子どもに心臓疾患、難聴、白内障などの重い病気や障がいが出る可能性がある。接種率を上げるためにも予防接種を完全無償化する考えは無い

か。

健康福祉部長 現在、厚労省で検討しているので国の動向を注視していく。

質問3 改札口前の広いスペースには椅子、ベンチが無い。高齢者、障がい者にとってもこれらは必要だ。設置するよう鉄道会社に申し入れる考えは無い



野菜で作った宝船

企画財政部長 椅子の必要性は理解している。鉄道会社と対話していく。

質問4 都市再生機構事務所用地の跡地活用について、市民と共に考え、話し合うことを提案する。香川県丸亀市では市民一人の車座集会を始め市民と共にまちづくりに努めている。先進事例に学ぶ考えは。

市長 議員の提案を踏まえ、多くの市民の皆さんから意見が頂けるよう取り組む。



お知らせ

ライブ中継・録画中継を配信しています。

平成31年第1回定例会で予定されている一般質問は、2月6日(水)以降、ホームページに掲載しています。



お知らせ

危険な市道の安全対策を

個人質問

伊藤真一議員

質問1 市道18-032号線（小林小学校下）は、新設工事途中の道路から生活道路のような道幅が狭い道路へ迂回を余儀なくされる場所であり、市内ではここだけとなっている。車のすれ違いの際には道路幅からはみ出す様な状況で交通及び歩行者にも危険な状態となっているところ、交通量だけが増え続けている状態が8年も継続しているが、今の安全対策で十分と考えているのか。

答弁 小林新田地先については、交差点部の形態により、具体的な対策が難しい状況であるが、カーブミラーの設置で効果がえられるか、現地調査していく。小林馬場地先については、国道沿いの草等の繁茂も要因の一つとなっていると思われるので、管理者である千葉県に管理徹底を要望していく。

都市建設部長 当該箇所は共用開始した際に交通量の増加を見込み、区画線やガードレール等を設置したが、時間も経過していることから、再度、安全対策を検討していく。

再質問 市道18-017号線（小林新田地先）と、市道18-1002号線（小林馬場地先）の国道356号線との接続部分のように、見通しが悪



個人質問

住民の洪水危機意識が希薄では

機会を捉えて周知活動が必要

海老原作一議員



大森小学校の水災水位記

質問1 利根川に接した地区における洪水に対する住民の危機意識の希薄さに対して市の取り組みは。

総務部長 市内において、大規模な洪水被害が発生していないことから、危機意識が希薄になりやすい状況にある。よって、様々な機会を捉えての周知活動を行う必要がある。

再質問 河川氾濫時の想定浸水深を示した看板を電柱に設置する注意喚起の方法をどう考えるか。

答弁 平時からの洪水被害への意識を高め、災害時の被害を最小限にすることが期待できることから、洪水ハザードマップの改訂に併せて、設置の検討をしたい。

再質問 大森小学校内に内水による浸水深表示標識があるが、防災啓発に活用を考えるとどうか。

答弁 過去に起きた内水の浸

水深の活用や情報の周知に努めたい。

質問2 成年後見制度における市民後見人養成は。

健康福祉部長 社会福祉協議会において、法人後見を受任できるよう定款変更をするなど、市民後見人養成の基盤整備を進めている。

再質問 市が関与する分野は。

答弁 受講要件、養成カリキュラムの作成は、市が主となり社会福祉協議会と協議・検討していく、また、後見支援センターの運営を支援する。

師戸城の再建は

個人質問

櫻井正夫議員

質問1 県立公園となつている師戸城址と師戸城周辺の土地活用は。

都市建設部長 県としては師戸城再建は考えていないが、師戸城は14世紀に築かれたもので地域支配の拠点であったと思われる。その当時のまま良好な状態で残っている空堀や土塁等も残され価値ある城跡だと思ふ。また、師戸城周辺の市所有の土地に文化的な縄文時代・弥生時代の住居等の建設も含めて、様々な問題をクリアする必要がある、利活用にあつた課題は少なくないと思ふ。

手が築かれていたので、一周出来る自転車道整備の考えはどうか。

都市建設部長 西印旛沼を一周できる自転車道整備は、印旛沼の風景や自然に親しみ、地域の活性化にも寄与するものと思ふ。千葉県管理の河川区域での工事・維持管理となり、様々な規制があり、県に自転車道整備の要望をしていきたい。

印西市初 女性模擬議会で活躍した議員のみなさま

※活躍の様子は、議会議事録、録画で確認できます。



さいとう さとこ 齊藤 智子 模擬議員

安心して住み続けられる環境配慮、大気の安全性



たかはし なおこ 高橋 尚子 模擬議員

防災（女性の活躍、人材の把握と活用）



つづき まりこ 都築 真理子 模擬議員

弱者対策（歩行者安全など）、予算（災害復旧費など）



はらの まさこ 原野 雅子 模擬議員

防犯灯のLED化、循環バスの新設など



まつもと ゆりこ 松本 有利子 模擬議員

保育園通園路の安全対策、行政サービス等の周知対策



あおやぎ かずえ 青柳 和江 模擬議員

市営住宅、市内幹線道路の安全管理、防犯灯



かたくら えみこ 片倉 恵美子 模擬議員

環境整備（市道、公園街路樹の草木など）、観光行政



うの ひとみ 海野 ひとみ 模擬議員

安心・安全な歩道の整備、公共交通の充実



師戸城址

質問2 一般県道八千代印旛栄自転車道線の一部追加案について、船戸大橋も2020年には開通するので歩道も付けられるようだが、それに合わせてスタートを臼井田町竜神橋・土浮・双子橋から分かれて、瀬戸・鎌刈・師戸と土

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。
12月11日に総務企画常任委員会、12月12日に文教福祉常任委員会、12月13日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。
委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

文教福祉常任委員会



複式学級の教室

小規模化による学校統合 教育の質を守るため慎重に審査

【議案第2号 印西市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】宗像小をいには野小に統合し、本塾第一小と本塾第二小を統合し本塾小を設置するもの。

問 本塾第一、第二小の統合は、教育委員会の方針と違う形になったが、教育委員会としての考え方を伺う。

答 基本方針では、本塾第一小は滝野小へ、本塾第二小は小林北小へ統合する案だったが、地域と話し合いを重ねていく中でこの形になった。複式学級も解消され、小規模だが特色を生かした学校運営ができると判断した。

問 統合後の子どもたちの様子をどう把握していくのか。

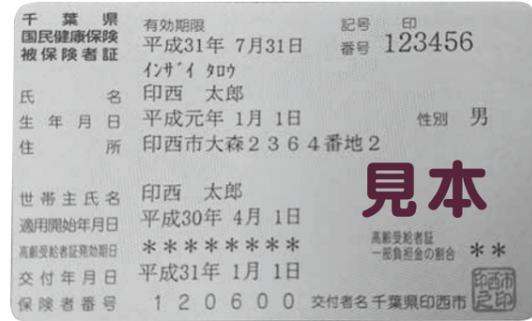
答 現在、子どもたちをみている教員が統合先の小学校に異動できるように要望していく。

問 通学区域が広がるが、どのように対応するか。

答 スクールバスでの通学を検討している。

国民健康保険条例の一部改正

総務企画常任委員会



印西市の国民健康保険証

【議案第1号 印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】基礎課税額の限度額を地方税法施行令（昭和25年政令第245号）で定める基礎課税額の限度額に準じて引き上げるもの。

【議案第7号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に準じて給料月額、宿日直手当の額及び勤勉手当の支給月数を改めるもの。及び、任期付き職員の給料表を改め、通勤手当の上限を定めるもの。また、字句の整理及び引用条項の整合を図るもの。

【陳情30-4号 印西市職員の市内居住を促進させる対策】
【内容】印西市職員は、国の制度と同じく、借家住まい職員に2万7千円を上限に支給され、持ち家手当はありません。

災害発生時に市内在住ならば、直ちに駆けつけられて活動が出来るという観点から市内に在住すべきというものです。

【審査結果】
●議案第1号
印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
〈可決〉

●議案第7号
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
〈可決〉

●陳情30-4号
〈不採択とすべきもの〉

【議案第6号 指定管理者の指定】

【内容】木下学童クラブの指定管理者を指定するもの。

問 同じ事業者を再指定することになるが、これまでトラブルや苦情はなかったのか。

答 トラブルや苦情があったとは聞いていない。

問 現在の定員数と入所児童数を伺う。

答 定員45名で48名を受け入れている。待機児童が13名いる状況。

【審査結果】

●議案第2号
印西市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定
〈可決〉

●議案第6号
指定管理者の指定
〈可決〉

補正予算の審査
予算審査常任委員会

予算審査常任委員会では、12月11日に補正予算の審査を行いました。補正予算3議案は原案のとおり可決するものと決定しました。

ここでは、質疑及び答弁の一部を要約して掲載します。

新元号にシステム対応へ

債務負担行為の補正

問 改元に伴うシステム改修業務委託の債務負担行為の内容とスケジュールは。

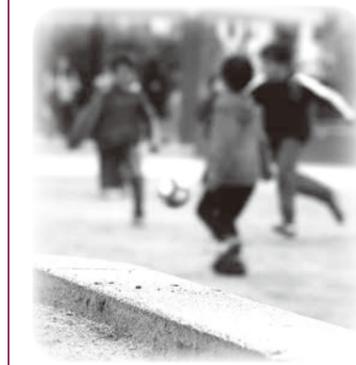
答 改元対応のため、文書管理システム、財務会計システムを改修するために債務負担行為を新たに設定する。スケジュールは、補正予算承認後、平成31年2月にシステム改修の準備に入り、新しい元号の発表後、最終作業を行い5月1日に備える。

小倉台第3学童クラブへ

設計へ

問 小倉台第3学童クラブ施設整備設計の内容は。

答 軽量鉄骨の2階建てを想定し、面積は、約300㎡で、40人1単位で2単位の80名の定員を予定した建物である。



高校生等医療費助成で

家庭の負担軽減へ

問 高校生等医療費助成事業費1200万円の増額補正の説明を求めます。

答 平成30年11月分までの助成実績から12月以降の助成金に不足が見込まれる。11月時点の前年同月比で約1070万円増加している。

保育園児の小麦アレルギー

食材高騰に対応へ

問 保育園給食の運営事業の301万4千円の増額補正の内容は。

答 小麦アレルギー対策として、新たにもとの保育園の全園児に米粉で対応する。また、夏の暑さでの野菜の値段の高騰の関係で増額補正をする。

予防接種事業で

乳幼児の健康を守る

問 予防接種事業1955万5千円の増額補正は。

答 乳幼児の転入の増加に伴い、当初見込みより接種回数の増加が見込まれる。特に、ヒブ、肺炎球菌、四種混合、B型肝炎の予算に不足が見込まれるための増額である。



印西市の農業を守る

問 農地中間管理事業に要する経費の24万7千円の増額理由は。

答 2種類の交付金があり、経営転換協力金では、4件の見込みが実績として12件に、耕作集積協力金では、面積が407ha減となり、相殺しての補正金額である。

下水道事業特別会計

国からの社会資本整備総合交付金の減額理由は。

答 交付金の内示額の減額理由は特に示されないため、県の下水道課に問い合わせたところ、要望額に対する内示額は約80%であるが、前年度並みであるとの回答があった。

介護保険特別会計

問 介護認定に要する経費の増額補正は。

答 任期付き職員の退職に伴い、認定調査員を委託するための増額補正である。

委員会提出議案

▼印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定 **〈可決〉**

【内容】 印西市議会委員会条例には傍聴に関する詳細な規定がなく、一定のルールに基づき運用することが効率的であることから、別途、委員会の傍聴に関する規程を制定するもの。

本会議において、議会運営委員会から提出され、全会一致で可決されました。

陳情

▼印西市職員の市内居住を促進させる対策 **〈不採択とすべきもの〉**

平成30年12月11日に開催した総務企画常任委員会では、不採択すべきものとなりました。

本会議では、原案に反対する討論が1件あり、19対1で不採択すべきものと決定しました。

平成30年第4回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥 ※議長(藤代武雄)は採決に加わりません。 ※賛否が分かれた議案のみ掲載しました。

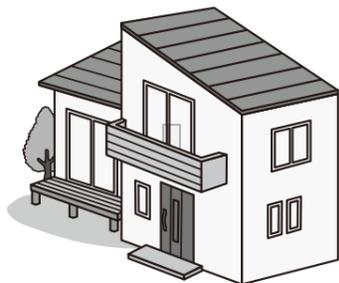
番号	件名	議決結果	伊藤真一	稲葉健	小川利彦	玉木美	米井重行	櫻井正夫	浅沼美弥子	岩崎成子	海老原成一	近藤瑞枝	橋本和治	増田葉子	松尾榮子	山本清	小川義人	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	酢崎義行	藤代武雄	
《議案》(市長提出議案)																								
議案第1号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第6号	指定管理者の指定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
《陳情》																								
陳情30-4号	印西市職員の市内居住を促進させる対策	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—

平成30年第4回定例会 全会一致(可決)議案一覧

番号	件名	番号	件名
《議案》(市長提出議案)			
議案第2号	印西市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定	議案第7号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第3号	平成30年度印西市一般会計補正予算(第3号)	《発委》(委員会提出議案)	
議案第4号	平成30年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	発委第1号	印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定
議案第5号	平成30年度印西市介護保険特別会計補正予算(第3号)		



本会議場の傍聴席



請願・陳情書の提出ができます。詳細は議会事務局まで。

女性模擬議会議会開催に注目

印旛管内市議会視察研修会

平成30年10月22日から23日にかけて印旛管内市議会正副議長連絡協議会視察研修会が福島県郡山市で開催されました。研修内容は、22日に郡山市議会の「議会運営・議会改革について」および「災害時における議会の対応について」説明を受け、質疑応答が行われました。東日本大震災時の議会の対応について貴重な体験を伺うことができました。



23日には、郡山市のこども総合支援センター「ニコニコこども館」を視察しました。このこども館は、一日千人を超える来館者があり賑わいを見せていますが、避難所の機能も持っています。21年4月1日にオープンしましたが、その2年後の東日本大震災が起きた際には、避難所としても大きな役割を果たしたとのことでした。22日の研修の後、連絡協議会の定例会が開催され、印旛管内各市議会の議会運営等について報告を交わしました。印西市議会については、30年度の一般的な活動に加え、女性模擬議会の開催、市民意向調査、議員研修実施やWi-Fi環境整備を行ったことを紹介し、他の市議会から注目を集めました。特に女性模擬議会の開催については、議長の選任について等具体的な質問が多く出ました。

委員会視察報告



函館市地域交流まちづくりセンター

総務企画常任委員会では、平成30年10月17日から19日まで、北海道函館市・江別市・深川市にて視察研修を実施しました。当地は、北海道胆振東部地震の影響で、混乱していた中ではありましたが、快く視察を受け入れてくれました。

北海道の先進地に学ぶ

総務企画常任委員会

函館市では、公共施設の指定管理の実態を受託業者より説明を受け、その内容は、市民や利用者との意向に沿った運営を行っていました。印西市も指定管理が増える中で参考にすべきものが多くありました。

江別市では、地震時の防災の実態を市職員と消防職員より、地震発生時の初動や共助での生活水確保、救急車の適正利用に関する通信アプリについて説明を受けました。地震発生時の初動が重要であることは認識していましたが、市内全域で同時に対応しなければならぬことの重要性を認識させられ、防災訓練等に反映させるべきと感じました。



販売された深川市の市有地

深川市では、市有地売却について現地も含め、視察しました。公共施設の統廃合により発生した市有地が宅地化されて、適正価格で販売されることで、購入者にとっても、深川市にとってもメリットがあるとのことでした。印西市も今後発生する市有地対策として検討すべきものと思われました。

「声の議会だより」ができるまで

議会だより編集委員が取材

今回は「声の議会だより」を作成している印西音訳ボランティアあしづえの収録現場にて、代表の森下真弓さんに「声の議会だより」ができるまでを取材しました。

問 現在の会員数は。 森下 現在19名です。



問 全体の流れは。

森下 録音は、原稿を読む人、読みをチェックする人、録音機材であるパソコンの操作とその補助をする人などに分かれて行っています。

- ① 議会事務局から社会福祉協議会を通じて原稿を受け取る。
- ② 読み担当者に原稿を分担。
- ③ アクセントの確認、文字や写真の説明のしかたなど、原稿

の読み方を打ち合わせる。

④ パソコンを使って録音。

⑤ 録音したものを聴き、必要があれば読み直す。

⑥ マスターCDを作成。

問 作業をしている時、心掛けている事は。

森下 大切なのは「聞く側からわかる読み」です。どのように読めば利用者に伝わるのかを皆で検討しています。

取材後、最新版CDを頂きました。収録時間が約1時間40分の大作です。取材をして改めて作業の大変さを実感しました。「声の議会だより」の配付を希望される方は、障がい福祉課までご連絡ください。



これからの保健業務

中学校部活動等を研修
文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は、委員全員で討議し選定したテーマに基づき、10月22日から24日まで、関東3県の視察研修を行いました。

埼玉県川越市では、保健業務の地区担当制を視察。高齢化の進行に伴い、保健業務を業務担当制から地区担当制に



川越市総合保健センター視察風景

転換した取り組みの現状と課題について研修しました。印西市では保健センターの整備が政策課題となっており、今後の保健業務を考える参考となりました。

群馬県伊勢崎市では、中学校の部活動のあり方を視察しました。教職員の働き方の問題でもある部活動。伊勢崎市ではいち早く、現場や関係者の意見を集約してわかりやすい部活動ガイドラインを策定し運用しています。ガイドラインを策定したばかりの当市にとって、実際の運用面はたいへん参考になる内容でした。

最後に栃木県那須塩原市で、英語教育、ICT教育の



取り組みを視察。全小中学校にALT（外国語指導助手）を1人配置し、全クラスに電子黒板を設置するなど、投資すべきところにしつかりと予算を付けた上で、充実した取り組みが展開されており、特色ある教育のあり方を実感することができました。

3市とも、熱意あふれる担当者の説明に、政策は人が動かすことを改めて感じ入る研修でした。

北海道のインフラ事業と

産業振興策

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会では、平成30年10月24から26日まで北海道旭川市、富良野市、石狩市を先進地視察しました。

旭川市では、下水道の維持管理を包括的に委託する方式を採用しています。この方式には、メリットの一つとして



補修の際の発注業務の必要がなくなり、スピードアップを図ることができま。印西市でも時期的に研究の必要が出てきています。

富良野市では、官民協同の中心市街地活性化を目的としたルーバン・フラノ構想について視察しました。稼げるまちづくりとして全国100都市の一つとして認定され、活性化に取り組んできました。

以前から富良野市は、知名度は高く、観光客も多く、特に海外を含むスキー客も徐々に増えてきましたが、市街地に商店が無く、人が通過するだけの街でした。そこで、商店街店主たちが多額の借金をしてフラノマルシェを誕生させ、



富良野市フラノマルシェが誕生

年間70万人が訪れる一大観光ショッピングセンターを築き上げました。

石狩市では、食と農のカレッジを視察。地場農産物と石狩農業への理解を広げるため、農業経営者によるノウハウの継承や体験型講座の実施を通して、地域産業の活性化を図るユニークなプログラムでした。印西市の農業政策にも取り入れていきたいと思えます。

表紙の写真



平成30年11月27日に松山下公園陸上競技場で第13回印西小学校駅伝競走大会が行われました。市内20の小学校から男子36チーム、女子35チームが参加し、5区間で襷をつなぎました。また、おしくもメンバーに入らなかった選手によるオーブンロードレースも行われました。

今回も昨年と同様に順天堂大学の長距離選手（4年生）3名が全区間を伴走してくれました。新春に行われた箱根駅伝で健闘した選手たちの伴走を受けて、子供達の走りも絶好調で、各学校の名誉を背負いながら走る姿は箱根そのもの、印西市から箱根ランナー誕生が期待されます。

編集後記

年明けから早1カ月、いかがお過ごしでしょうか。平成時代最後の議会だよりをお届けします。

さて、本年は、統一地方選挙と参議院議員選挙が行われる12年に一度の亥年です。4月には印西市議会議員選挙が行われ、新たなメンバーでの議会がスタートすることになります。

市民の皆様とともに新しい時代の希望に向かって猪突猛進といきたいものです。

皆様のご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。（浅沼）

- 委員長 酢崎 義行
- 副委員長 海老原 作一
- 委員 伊藤 真一
- 委員 稲葉 健
- 委員 小川 利彦
- 委員 玉木 実
- 委員 米井 重行
- 委員 浅沼 美弥子

『一人一人の意識』

西の原中学校卒

市川 彩花



今回、市民の声を書かせていただくにあたり、どうして若年層は政治に興味がなく、投票へも行かないのかを改めて考えました。私は「政治への諦め」があるのではないかと、と思います。「私人が投票をしたところで何も変わらない」と諦めている人が多いのではないのでしょうか？また、そもそも政治に関する知識が無い為に投票出来る権利を放棄してしまっているようにも感じます。しかし、高齢化の進む今

こそ若者の投票が必要だと考えます。そのためには私たちのような年代の人々が一人一人、意識を変えていくことが必要になってきます。私が投票しなければいけない、と思う理由は、例えば将来自分が不満に思ったり、理不尽だなと思うような政策が成立したとしても選挙への投票を行っていただければ、そこに異論を唱える権利はないと思うからです。選挙は自分たちの将来を決めることでもあり、生活しやすい環境を作る為にも、国や地域で何が起きているかを知り、どうしたらより良い環境になるかを考えることが大切なのです。せつかく与えられている投票の権利を無駄にせず、自分のこれからについて考えるのと同じように、政治のこともしっかりと考えられる大人になっていきたいです。

議会を傍聴してみませんか

第1回 定例会会期予定及び日程

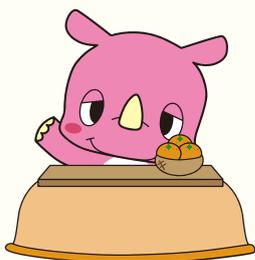
次の定例会は、2月14日(木)から3月18日(月)までの会期予定です。

本会議は午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614



いんざい君© 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
2/3	2/4	2/5	2/6 議会運営委員会	2/7	2/8	2/9
2/10	2/11 建国記念日	2/12	2/13	2/14 本会議 (議案上程)	2/15	2/16
2/17	2/18 本会議 (金派代表質問)	2/19 本会議 (金派代表質問)	2/20 本会議 (個人質問)	2/21 本会議 (個人質問)	2/22 本会議 (個人質問)	2/23
2/24	2/25 本会議 (個人質問)	2/26 予算審査 常任委員会	2/27 予算審査 常任委員会	2/28 予算審査 常任委員会	3/1 予算審査 常任委員会	3/2
3/3	3/4 予算審査 常任委員会	3/5 総務企画 常任委員会	3/6 文教福祉 常任委員会	3/7 建設経済 常任委員会	3/8	3/9
3/10	3/11 本会議 (議案の採決)	3/12	3/13	3/14	3/15 議会運営 委員会 正副委員長会議	3/16
3/17	3/18 本会議 (議案の採決)	3/19	3/20	3/21 春分の日	3/22	3/23